

Gen3232-12G

32x32 12G/3G/HD -SDI

コンパクトルーティングスイッチャー

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。 火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。 火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。



 注意**■ 電源プラグを抜くときは**

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

**■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**■ 次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となります。

湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

**■ 通風孔をふさがない**

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

**■ 重いものを載せない**

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

**■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

**■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く**

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

**■ お手入れをする時は電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	6
2. 構成.....	6
3. 機能.....	6
4. ブロック図.....	7
5. 操作説明.....	8
5-1. 電源の投入と切断.....	8
5-2. 各部の名称.....	8
5-2-1. フロントサイド (フロントパネル取り付け時).....	8
5-2-2. フロントサイド (化粧パネル取り外し時).....	8
5-2-3. リアサイド.....	9
6. 据付方法.....	10
6-1. ラックへの取付方法.....	10
6-2. 接続.....	10
6-2-1. 電源ケーブルの接続.....	10
6-2-2. SDI 機器との接続.....	10
6-2-3. リファレンス信号の接続.....	10
6-2-4. GPIO 信号の接続.....	10
6-2-5. コントロールパネルの追加接続.....	10
6-2-6. SNMP 監視装置との接続.....	10
7. WEB による各種設定.....	11
7-1. システム要件.....	11
7-1-1. 対応ブラウザ.....	11
7-1-2. ネットワーク環境.....	11
7-2. 起動.....	11
8. SNMP 設定.....	12
8-1. SNMP マネージャーの取得.....	12
8-2. SNMP 設定情報.....	13
9. コネクター ピンアサイン表.....	14
9-1. GPIO1/RS-232C コネクター(9).....	14
9-2. GPIO2 コネクター(10).....	14
10. 定格および電気的特性.....	15
11. 外観図.....	16
12. お問い合わせ.....	16

1. 概要

- Gen3232-12Gは、12G-SDI、6G-SDI、3G-SDI、HD-SDI、DVB-ASI信号に対応した32入力32出力のコンパクトルーティングスイッチャーです
- 前面からホットスワップ可能な二重化電源を搭載しています
- EIA-1RU の 19 インチラックマウントサイズです
- 欧州 RoHS 指令に適合しております

2. 構成

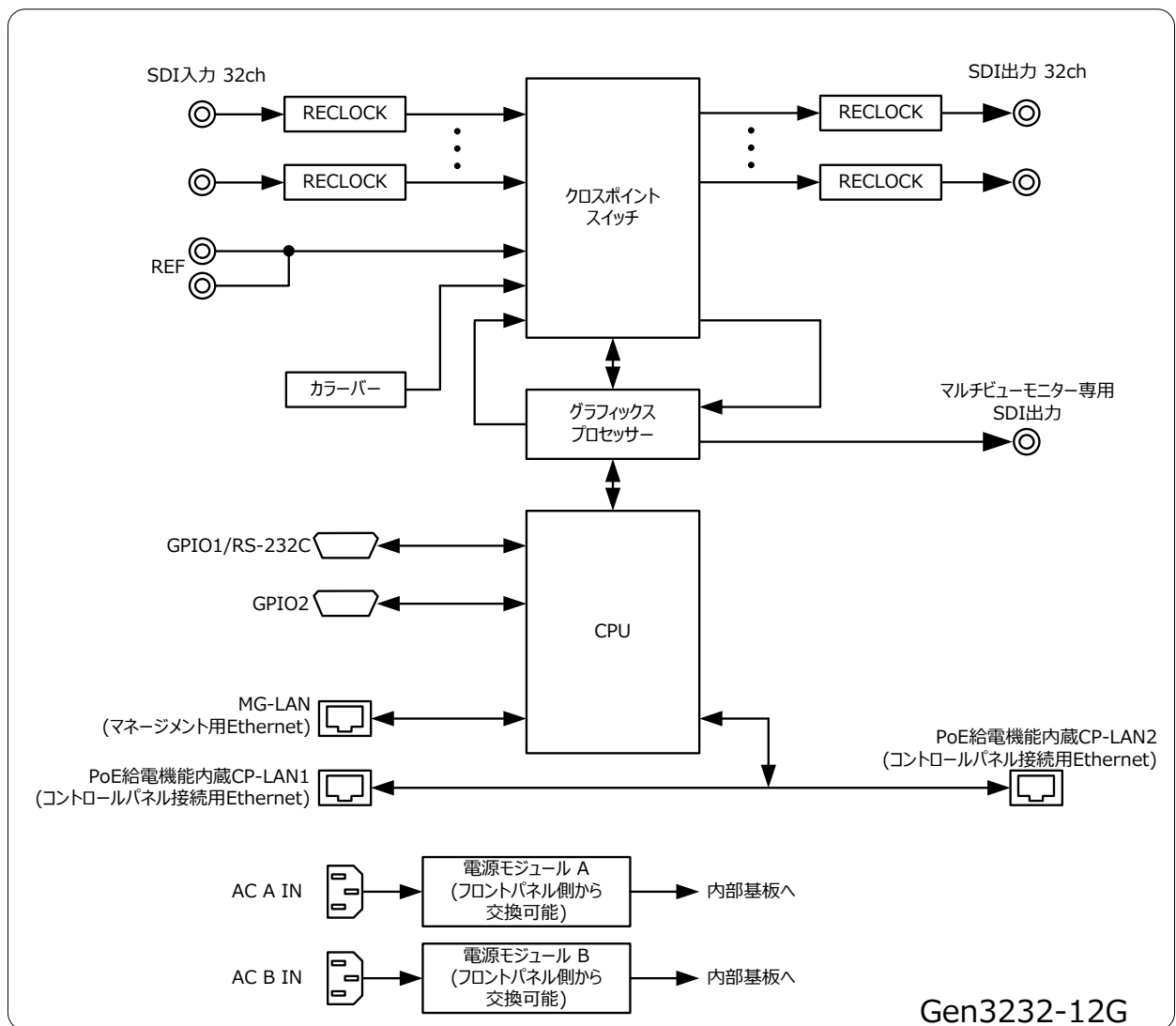
Gen3232-12G は本体と付属品で構成されています。下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数 量	備 考
32x32 12G/3G/HD-SDI コンパクトルーティングスイッチャー	Gen3232-12G	1	本体
抜け止め機能付き電源ケーブル 1.8m		2	
Gen3232-12G 取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・ リファレンス入力を装備し、全クロスポイントがスイッチングポイントでの切り替えに対応
(フォーマットが異なる信号を切り替える場合はスイッチングポイントでの切り替えができないことがあります。)
- ・ 出力バスとは独立した分割無し/4分割/10分割/16分割マルチビューモニター出力(3G-SDI/HD-SDI)を標準装備
(設定によりフレームレートは60Hz～1Hz程度になります。)
- ・ 1Uタイプのコントロールパネルを本体に収納可能
(分離して使う場合は、本体に必ずブランクパネルを装着してください。)
- ・ サルボ機能、テイク機能、クロスポイントインヒビット機能、ソース/デスティネーションインヒビット機能、デスティネーションロック機能、パネルロック機能を搭載
- ・ カラーバー出力機能を搭載
- ・ Webサーバーを内蔵し、ブラウザによる設定・制御・ステータス表示が可能
- ・ 3つのEthernetポート(PoE給電機能内蔵ポートx2, 通常ポートx1)を装備し、PoEでコントロールパネルへの給電が可能
- ・ 1台の本体に最大16台のコントロールパネルを接続することが可能 (TCP/IP接続)
- ・ SNMPによるリモート監視・制御に対応 (現バージョンではTrap送信のみ対応)
- ・ ラストメモリ機能を搭載
- ・ プログラマブルなGPI/GPO機能を搭載
- ・ 他社製コントロールパネルとの接続用にRS-232Cポートを標準装備 (現バージョンでは未対応)
- ・ 完全フロントメンテナンス方式のリダンダント電源を装備 (AC100～240V 50/60Hz)

4. ブロック図



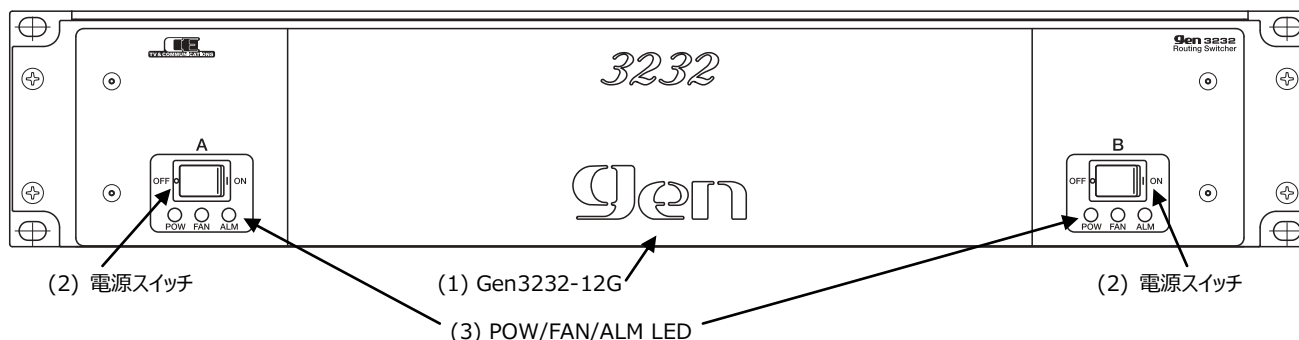
5. 操作説明

5-1. 電源の投入と切断

電源スイッチは本体フロントの左右電源モジュールに配置されています。電源スイッチ(2)を ON 側にすると電源が入り、OFF 側にすると電源が切れます。

5-2. 各部の名称

5-2-1. フロントサイド (フロントパネル取り付け時)



(1) Gen3232-12G

ルーター本体の Gen3232-12G です。2U サイズの化粧パネルが取り付けられています。

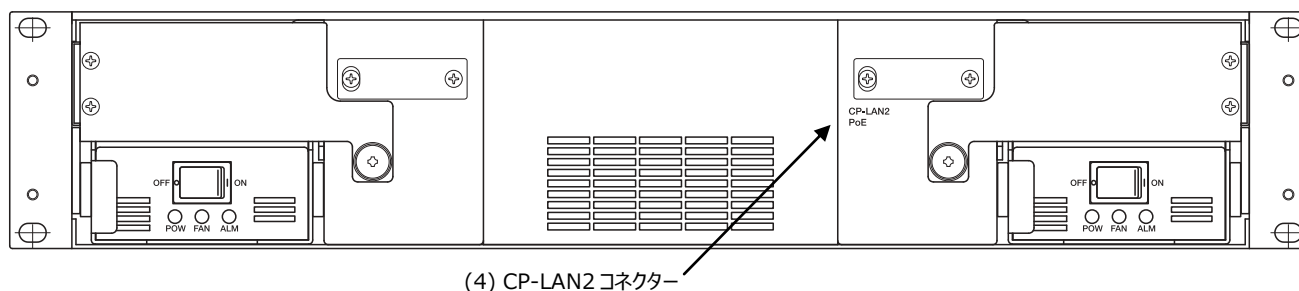
(2) 電源スイッチ

電源スイッチを ON 側に倒すと電源が入り、電源スイッチを OFF 側に倒すと電源が切れます。

(3) POW/FAN/ALM LED

Gen3232-12G の POW、FAN、ALM の状態を示す LED です。POW LED は電源正常時には緑点灯し、故障時又は電源未投入時(他方の電源正常時)には赤点灯します。FAN LED は正常回転時には消灯し、故障時には赤点灯します。ALM LED は正常時には消灯し、設定された内部アラーム(内部温度異常等)時には赤点灯します。ルーターの動作に支障をきたすような内部エラーが発生した時には赤点滅します。ALM LED が赤点滅している場合は、本書の最終ページに記載されているお問合せ先にご連絡ください。

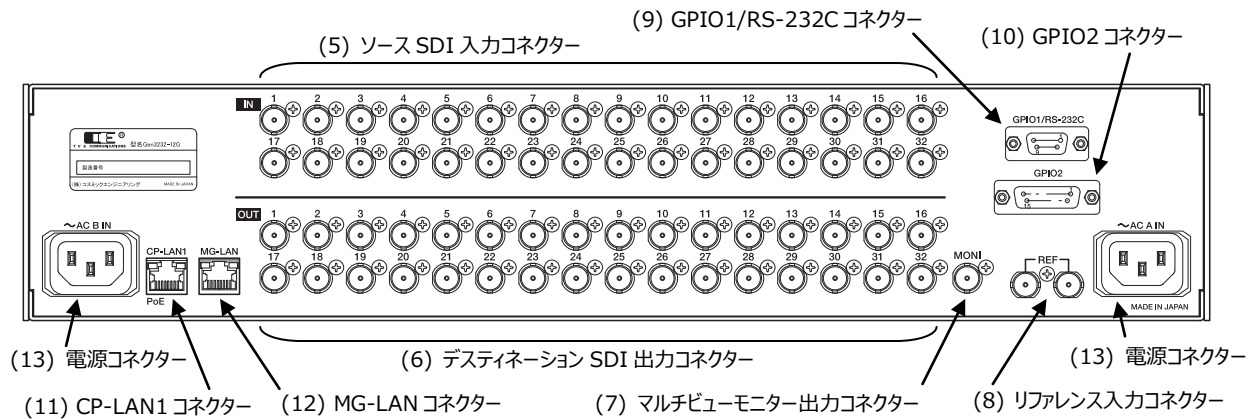
5-2-2. フロントサイド (化粧パネル取り外し時)



(4) CP-LAN2 コネクター

化粧パネルの内側に、CP-LAN2 コネクターを内蔵しています。1U タイプのコントロールパネルを Gen3232-12G 本体に取り付ける場合は、CP-LAN2 コネクターとコントロールパネルの CP-LAN コネクターを LAN ケーブルで接続してください。

5-2-3. リアサイド



(5) ソース SDI 入力コネクタ

ソース信号の SDI 入力コネクタです。

(6) デスティネーション SDI 出力コネクタ

デスティネーション信号の SDI 出力コネクタです。

(7) マルチビューモニター出力コネクタ

マルチビューモニター出力コネクタです。設定により、分割無し/4 分割/10 分割/16 分割で出力することができ、タリー表示、ラベル表示も可能です。

(8) リファレンス入力コネクタ

ループスルー出力付きのリファレンス入力コネクタです。リファレンス入力を基準に設定されたシステムフォーマットに従いクロスポイントを切り替えます。ループスルー出力を使用しない場合は、75Ω 終端器を取り付けてください。

(9) GPIO1/RS-232C コネクタ

GPI、GPO、12V 出力、RS-232C に設定で切り替えることのできる信号コネクタです。アラーム接点出力も搭載しています。

(10) GPIO2

GPI、GPO に設定で切り替えることのできる信号コネクタです。

(11) CP-LAN1 コネクタ

コントロールパネルを接続する LAN コネクタです。

(12) MG-LAN コネクタ

SNMP や WEB 接続するための外部環境と接続するマネージメント用 LAN コネクタです。*1

(13) 電源コネクタ

付属品の電源ケーブルを接続するコネクタです。

*1 : MG-LAN と CP-LAN は同じサブネットに接続しないでください。使用するサブネットが一つだけの場合は、CP-LAN のみを使用してください。

6. 据付方法



注意

ご使用のフレームの電源がオフであることを確認してから作業を行ってください。電源がオフでないと機器間のGND電位差による感電、機器の損傷等の可能性があります。また、静電気等により機器が損傷等する可能性がありますので、静電対策を行ってから作業を行ってください。

6-1. ラックへの取付方法

本機を EIA 規格のラックに取り付ける場合は、本体前面の両サイドにあるラックマウント取り付け穴(左右に各 2 個)を利用し、M5 のネジを使用して取り付けます。

6-2. 接続

6-2-1. 電源ケーブルの接続

付属品の抜け止め防止機能付き電源ケーブルのメス側を電源コネクタ(13)に接続します。

電源ケーブルのオス側は AC コンセントに挿入してください。

設置場所の AC コンセントが 3 極でない場合は、市販のプラグアダプターを使用していただき、必ずプラグアダプターのアース線を施設のアース端子に接続してください。

電源ケーブルのメス側を電源コネクタ(13)から取り外す時は、赤色のボタン(2 箇所)を押すとロックが解除されますので、ボタンを押したまま引き抜いてください。

6-2-2. SDI 機器との接続

ソース SDI 入力コネクタ(5)と信号源となる機器の SDI 出力、デスティネーション SDI 出力コネクタ(6)と後段に置かれる機器の SDI 入力を、それぞれ BNC ケーブルで接続します。マルチビューモニター出力を使用する場合は、マルチビューモニター出力コネクタ(7)と外部モニターを BNC ケーブルで接続します。

6-2-3. リファレンス信号の接続

リファレンス信号をリファレンス入力コネクタ(8)に BNC ケーブルで接続します。必要に応じて、ループスルー出力を他の機器と BNC ケーブルで接続します。ループスルー出力を使用しない場合は、75Ω 終端器を取り付けてください。

6-2-4. GPIO 信号の接続

GPI 制御、タリール出力、RS-232C 制御をする場合は、用途により GPIO1/RS-232C コネクタ(9)、GPIO2 コネクタ(10)と対象機器を DSUB ケーブルで接続します。

6-2-5. コントロールパネルの追加接続

コントロールパネルを 1 台～2 台追加する場合は、CP-LAN1 コネクタ(11)または CP-LAN2 コネクタ(4)に直接 LAN ケーブルで接続します。3 台以上接続する場合は、PoE 給電機能の付いた Ethernet スイッチを CP-LAN1 コネクタ(11)または CP-LAN2 コネクタ(4)に接続し、Ethernet スイッチに追加するコントロールパネルを接続します。

6-2-6. SNMP 監視装置との接続

SNMP 監視装置または、WEB 接続用 PC を接続するときは、MG-LAN コネクタ(12)に LAN ケーブルで接続します。

(注) MG-LAN と CP-LAN は同じサブネットに接続しないでください。使用するサブネットが一つだけの場合は、CP-LAN のみを使用してください。

7. WEB による各種設定

7-1. システム要件

7-1-1. 対応ブラウザ

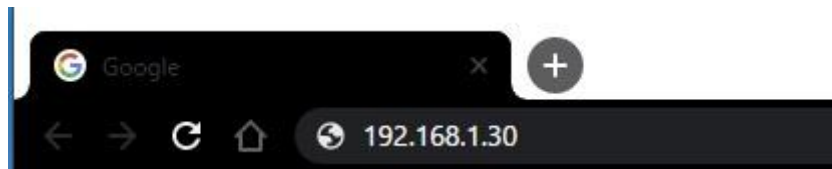
Google 社製「Google Chrome」に対応しております。今後「Firefox」、「Edge」に対応予定です。

7-1-2. ネットワーク環境

ブラウザ(Google Chrome)が動作する PC を、MG-LAN に接続します。MG-LAN への接続は、Ethernet スイッチを経由しても構いません。

7-2. 起動

Google Chrome で IP アドレスを入力して、Gen に接続します。Gen3232-12G の IP アドレス出荷時設定は、「192.168.1.30」です。複数のルーターを接続する場合には、IP アドレスが重複しないように、個別に接続して IP アドレスを変更してください。



Gen Web アプリ起動方法

Gen に接続すると、CP-LAN に接続されているルーティングスイッチャーとコントロールパネルの一覧が表示されます。詳細な設定方法は、『93-10165 コンパクトルーティングスイッチャー Gen シリーズ Web 設定取扱説明書』を参照してください。

8. SNMP 設定

Gen3232-12G ルーターは SNMP マネージャーに対しトラップを発行することができます。SNMPv1 対応です。

トラップ設定は Web による各種設定の一般タブから以下の項目を設定することができます。

- ・ コミュニティー名
- ・ トラップ送信 IP アドレス、ポート番号、トラップ送信タイプ
- ・ 送信する入力信号番号

トラップ送信タイプは、正常/異常トラップを異なる OID で送信するモードと、同じ OID で送信するモードをトラップ送信先ごとに選択することができます。

8 – 1. SNMP マネージャーの取得

wSnmpTrap は v1.6.0 までは SNMP マネージャーのフリーウェアです。下記サイトからダウンロードすることができます。

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA031427/wsnmp/index.htm>

アプリケーション操作の詳細については下記ファイルのどちらかを参照してください。

解凍したフォルダ¥DOCS¥read1st.htm

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA031427/wsnmp/read1st.htm>

8 - 2. SNMP 設定情報

以下のトラップを発行することができます。

正常/異常トラップを異なる OID で送信するモードでは 1000/2000 番台、同じ OID で送信するモードでは 3000 番台のトラップ番号を使用します。

※現バージョンでは、SNMP データの取得、設定には対応していません。Web による取得、設定のみに対応しています。

Trap 番号	内容
gen3232-12GTrapIn01Lock～ gen3232-12GTrapIn64Lock 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.1101～ 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.1164	SDI 入力信号 01～64 がロックしたことを示すトラップ。 変数として lock(1)を返します。
gen3232-12GTrapRefLock 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.1500	リファレンス信号にロックしたことを示すトラップ。 変数として lock(1)を返します。
gen3232-12GTrapPowerOk 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.1501	電源が正常に復帰したことを示すトラップ。 変数として ok(1)を返します。
gen3232-12GTrapFanOk 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.1502	電源ファンが正常に復帰したことを示すトラップ。 変数として ok(1)を返します。
gen3232-12GTrapIn01UnLock～ gen3232-12GTrapIn64UnLock 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.2101～ 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.2164	SDI 入力信号 01～64 がアンロックしたことを示すトラップ。 変数として unlock(2)を返します。
gen3232-12GTrapRefUnLock 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.2500	リファレンス信号のロックが外れたことを示すトラップ。 変数として unlock(2)を返します。
gen3232-12GTrapPowerNg 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.2501	電源 A、B のいずれか、あるいは両方のファンが異常であることを示すトラップ。 変数として aNG(2)、bNG(3)あるいは abNG(4)を返します。
gen3232-12GTrapFanNg 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.2502	電源 A、B のいずれか、あるいは両方のファンが異常であることを示すトラップ。 変数として aNG(2)、bNG(3)、あるいは abNG(4)を返します。
gen3232-12GTrapIn01Status～ gen3232-12GTrapIn64Status 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.3101～ 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.3164	SDI 入力信号 01～64 の状態が変化したことを示すトラップ。 変数として lock(1)、unlock(2)を返します。
gen3232-12GTrapRefStatus 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.3500	リファレンス信号の状態が変化したことを示すトラップ。 変数として lock(1)、unlock(2)を返します。
gen3232-12GTrapPowerStatus 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.3501	電源の状態が変化したことを示すトラップ。 変数として ok(1)、aNG(2)、bNG(3)、あるいは abNG(4)を返します。
Gen3232-12GTrapFanStatus 1.3.6.1.4.1.47892.1.2.8.3502	電源ファンの状態が変化したことを示すトラップ。 変数として ok(1)、aNG(2)、bNG(3)、あるいは abNG(4)を返します。

9. コネクター ピンアサイン表

9-1. GPIO1/RS-232C コネクター(9)

Dsub9 ピン (メス) 嵌合台インチねじ

1	GPIO1-1/12V OUT	4	GPIO1-4	7	GPIO1-7
2	GPIO1-2/RS-232C-TX	5	GND	8	ALM OUT
3	GPIO1-3/RS-232C-RX	6	GPIO1-6	9	ALM COM

1～4、6、7ピンは、設定により GPI、GPO、12V OUT、RS-232C-TX/RX に切り替えることができます。

GPI1-1～1-7 接点入力 (3.3V ロジック IC 受け、負論理)

GPO1-1～1-7 接点出力 (オープンコレクタ出力、24V/30mA max、負論理)

12V OUT 12V 出力 (Max. 100mA)

GND 本体内部の基板 GND に接続

ALM OUT, ALM COM 接点出力 (リレー出力、アラーム発生時には接点がメイクされ ALM OUT と ALM COM が短絡)

9-2. GPIO2 コネクター(10)

Dsub15 ピン (メス) 勘合台ミリ

1	GPIO2-1	6	GPIO2-6	11	GPO2-11
2	GPIO2-2	7	GPIO2-7	12	GPO2-12
3	GPIO2-3	8	GPIO2-8	13	GPO2-13
4	GPIO2-4	9	GPO2-9	14	GPO2-14
5	GPIO2-5	10	GPO2-10	15	GND

1～8 ピンは、設定により GPI、GPO に切り替えることができます。9～14 ピンは GPO 固定です。

GPI2-1～2-8 接点入力 (3.3V ロジック IC 受け、負論理)

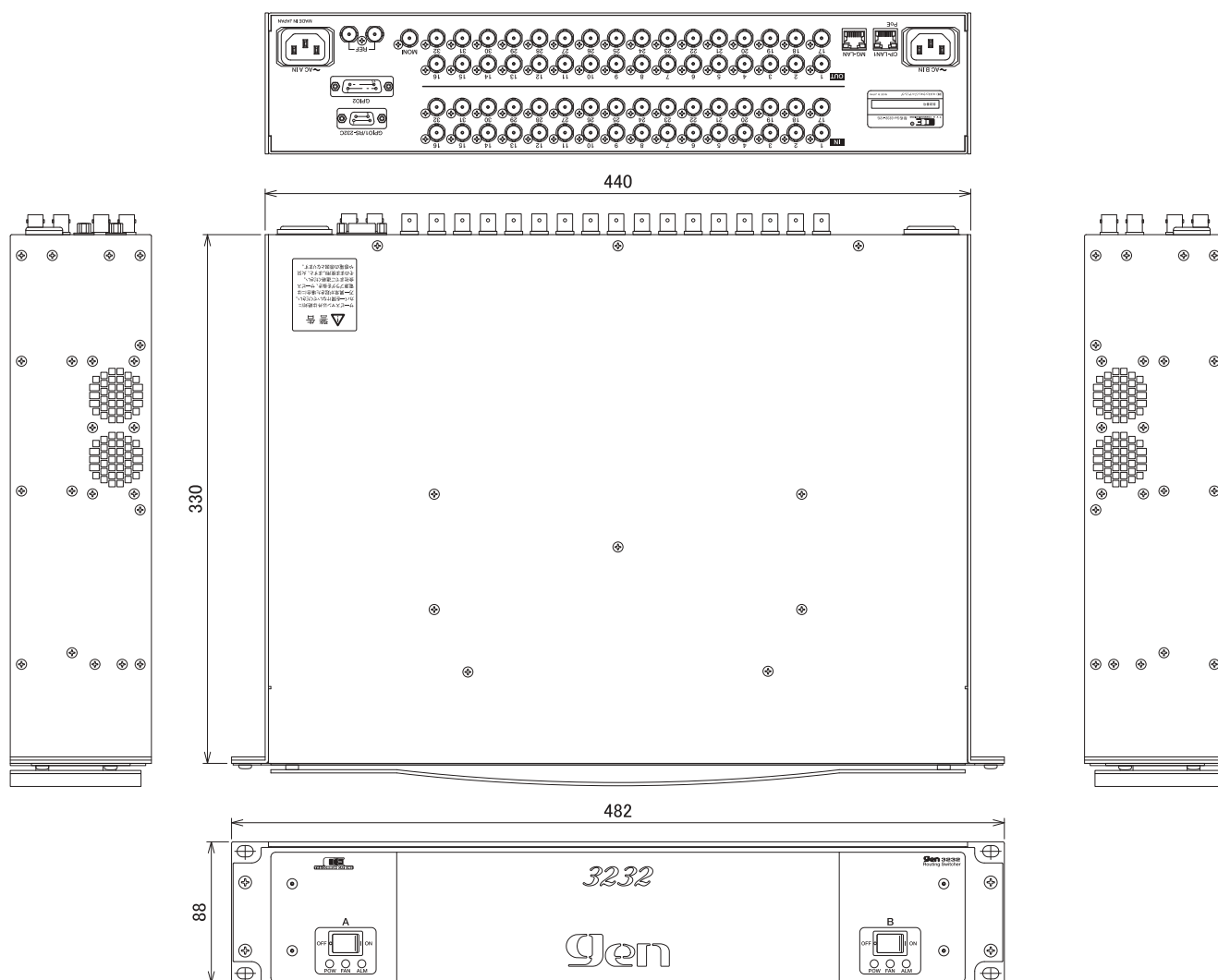
GPO2-1～2-14 接点出力 (オープンコレクタ出力、24V/30mA max、負論理)

GND 本体内部の基板 GND に接続

10. 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット	12G-SDI SMPTE-2082-1 6G-SDI SMPTE-2081-1 3G-SDI SMPTE-424M (レベル A/B) HD-SDI SMPTE-292M DVB-ASI EN50083-9
	コネクタ	BNC×32
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	コネクタ	BNC×32
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
マルチビュー モニター出力	対応フォーマット	3G-SDI SMPTE-424M (レベル A) HD-SDI SMPTE-292M
	コネクタ	BNC×1
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
リファレンス入力	コネクタ	BNC×2 (ループスルー含む)
	入力信号、インピーダンス	BBS/3 値シンク 75Ω
Ethernet	コネクタ	RJ-45×3 (コントロールパネル接続用×2, マネージメント用×1)
	対応レート	10/100/1000 Mbps
GPIO/RS-232C	コネクタ	Dsub9 メス (嵌合台インチねじ) x1
		Dsub15 メス (嵌合台ミリねじ) x1
動作環境	0℃～40℃ 20%～85% (結露なきこと)	
電源	AC100V～240V±10% (AC90～264V) 50/60Hz ×2	
消費電力	88W (Gen3232-12G : 70W, DualJog : 9W x2) ※ Gen3232-12G に追加で DualJog を 2 台取り付けたときの消費電力	
外形寸法	W482 × H88 × D330 (突起部を除く)	
質量	5.9 kg	

1 1 . 外観図



1 2 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp